

いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの授業」

南砺市立福光東部小学校

平成24年11月1日実施

【いのちの先生】

富堂 一夫先生・小児麻痺の障害がある。生活の中での思いを詩に表現している。

大森 永遠先生・工作中的事故で下半身不随に。車椅子バスケットボールを始める。



(お母さんへ)

私は、命の授業を受けて、命の大切さをあらためて知ることができました。お父さん、お母さん、いろいろな人のおかげで、今の私の命がある。今、私は「生きている」ということが分かりました。これからもそんな命を大切にしていきたいです。

(お父さんへ)

不自由な体でも、自由な体でも、どんな人にも命はあるから、命を大切に、しっかり生きていくことが大切だと、命の授業で先生は伝えたかったのだと思いました。そして前向きに進むことがいいんだと思いました。どんなことがあっても、「命」は大切にしなければならないと、あらためて思いました。

